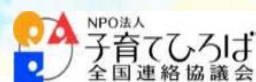


ウェルビーイングをめざす 子ども・子育て支援

2024(令和6)年5月17日

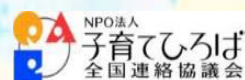
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
奥山千鶴子 松田妙子 石田尚美



本日、お伝えしたいこと

1. NPO法人子育てひろば全国連絡協議会の紹介
2. 妊娠期からの切れ目ない予防的支援の必要性
3. ウェルビーイングに価値を置く
4. NPO・地域人材の活用

1. NPO法人子育てひろば全国連絡協議会の紹介



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

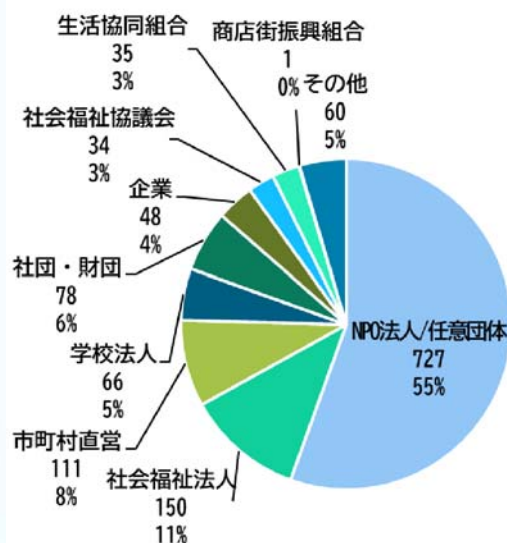
子育ての未来を ともに創ろう

地域子育て支援拠点(子育てひろば)が全国に広がっています。孤立せず、安心してこどもを育てるために、地域とつながり、こどもと家庭に寄り添う子育てひろば。その価値を社会に発信し、質の向上やネットワークづくりをすすめます。

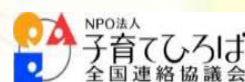
会員総数:1465会員 (2024年3月31日付)

団体会員:1310

個人会員: 155



講座のプログラム開発・全国規模・市町村単位での研修



調査研究・出版・研修

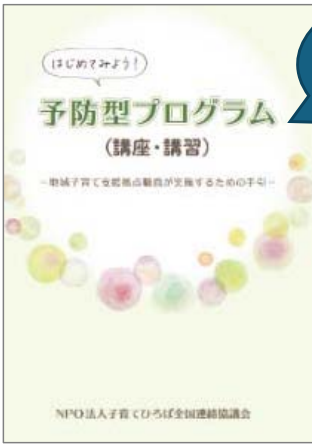


地域子育て支援拠点で取り組む「利用者支援事業のための実践ガイド」



「詳解地域子育て支援拠点ガイドラインの手引～子ども家庭福祉の制度・実践をふまえて」

大人の子どもへの避けたいかわり予防するグループワークを活用したプログラム



はじめてみよう予防型プログラム～地域子育て支援拠点職員が実施するための手引～



「プレママ・プレパパ向けポスター」


プレママ・プレパパ応援

拠点だからこそできる切れ目ない支援を応援

プレママ・プレパパに地域子育て支援拠点を知ってもらい、出産後の利用につながるよう、母子保健機関や企業向けのポスター、チラシを作成、拠点事業者に研修も実施。

子育てひろばを利用する皆様へ 「専用WEBサイト」

地域子育て支援拠点（拠点）は、全国に約2,000か所ある。本誌に掲載のお子さんとその家族が写る写真です。知事編成又は独自に行われ本町村事業で「子育て支援センター」「子育てひろば」などの名称が使われており、ほかにも民間の子育てひろばやカフェなどもあります。子どもを遊ばせながら、様々な子育てプログラムの受講・個別計画的な交流・育児相談・地域の子育て支援サービスの情報を知ることができ、子育て家庭をスタッフがサポートします。十日に開催している拠点もあり、自治体のHP等で開催日時をご確認の上、ご利用ください。プレママ・プレパパの勉強会や講座等を行っている拠点もあり、お電話でお近くの拠点を聞いて、気軽にご利用してみたいかと思いますが、



「企業労務担当者向けリーフレット」

地域子育て支援拠点ってどんなところ？



強弱に自ら寄って自由に遊ぶ。本誌に掲載のお子さんとその家族が写る写真です。

各自のペースで遊びに集中する。本誌に掲載のお子さんとその家族が写る写真です。

様々な講座が行われています。働きながらの子育ても応援しています！

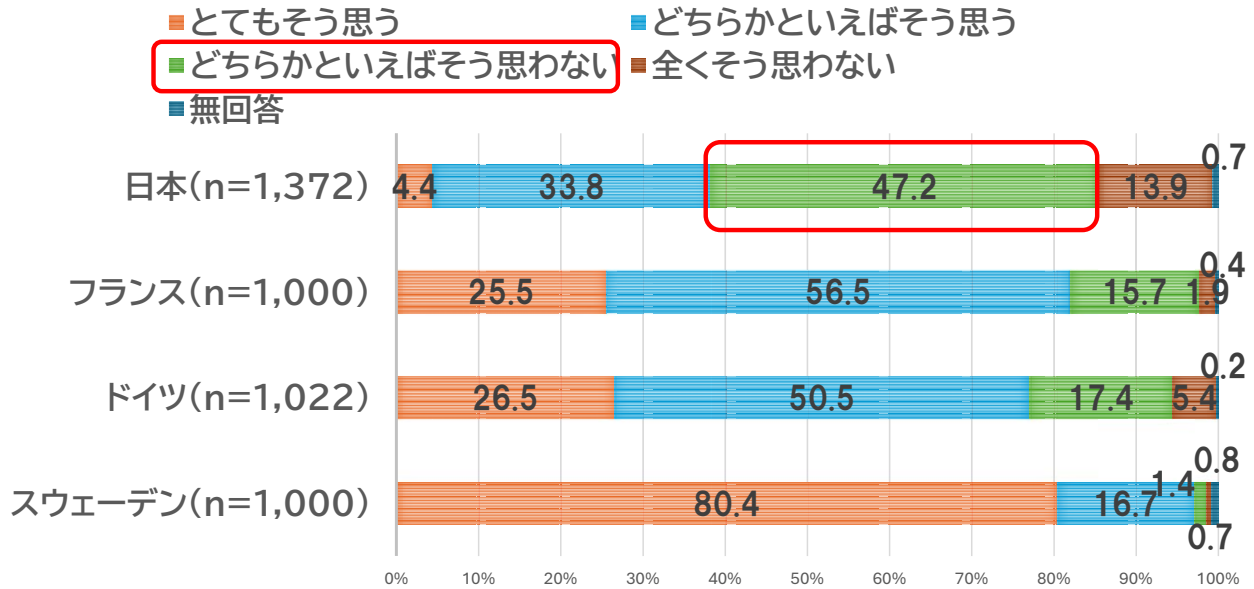
「企業労務担当者向けリーフレット」



2. 妊娠期からの切れ目ない予防的視点の必要性

子育てのしやすさ 諸外国との意識の比較

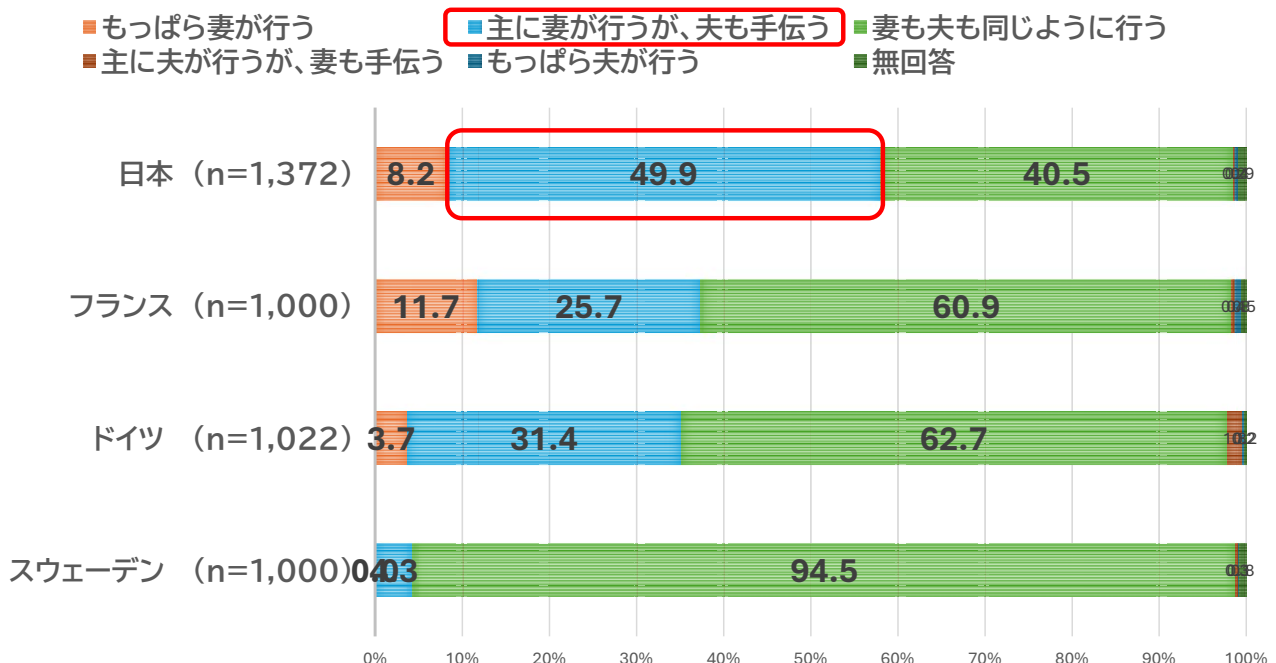
自分の国は、子どもを生き育てやすい国だと思うか



内閣府「令和2年度少子化社会に関する国際意識調査」より作成

性別役割分業観 諸外国との意識の比較

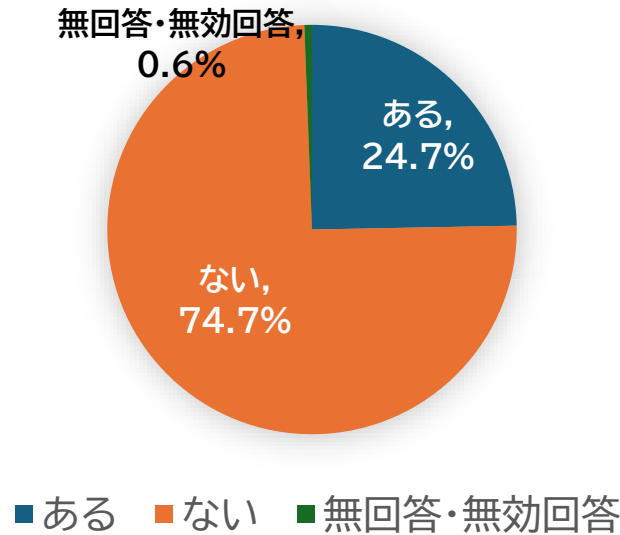
「小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について」



内閣府「令和2年度少子化社会に関する国際意識調査」より作成

赤ちゃんの世話の経験

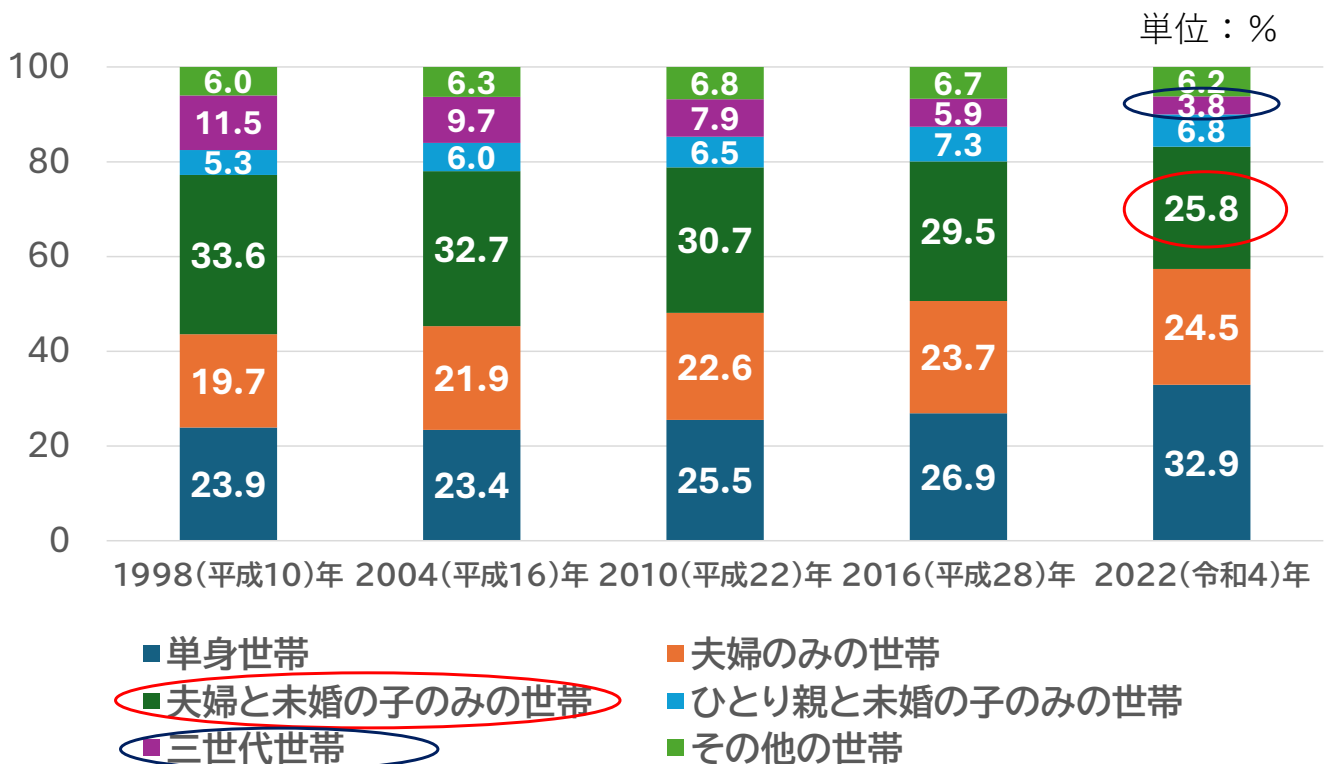
はじめてのお子さんが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがありますか。



未就学児保護者への調査
n=33,321
(回答者は、「母親」が84.1%、「父親」が15.3%、「その他」が0.2%)

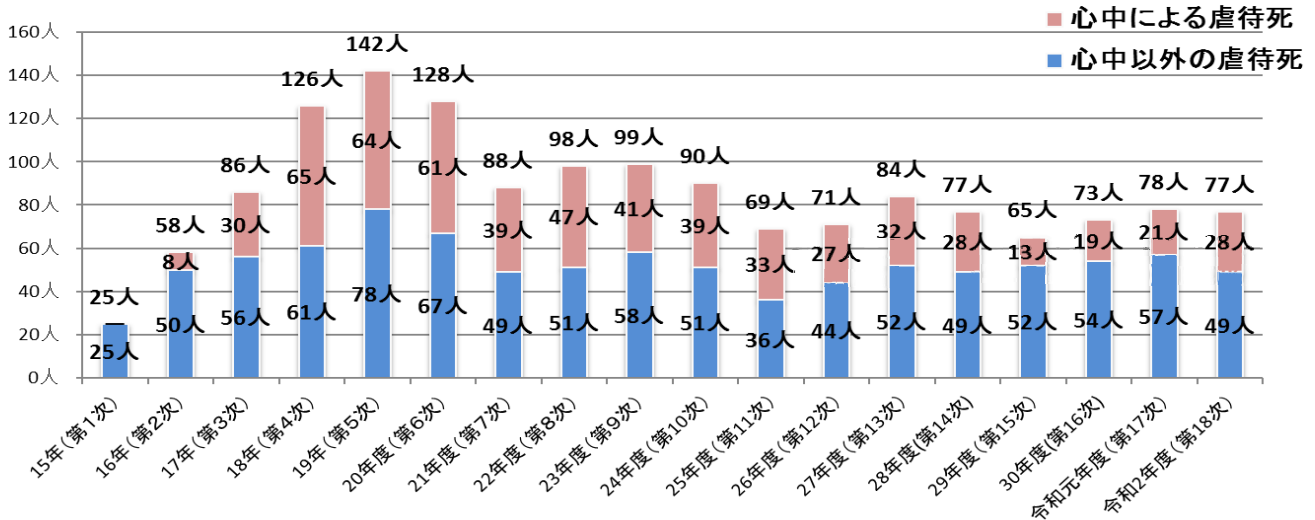
2023(令和5)年実施
「横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」より作成

世帯構造別、構成割合の年次推移

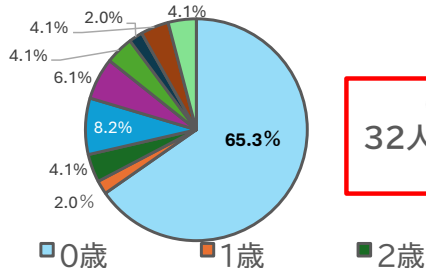


厚生労働省「2022(令和4)年 国民生活基礎調査」より作成

児童虐待の死亡事例の推移



死亡時点の子どもの年齢(心中以外の虐待)



こども家庭庁資料より

○ 年齢別でみると、

- ・ **0歳児**が最も多く(令和2年度心中以外の虐待死 **65.3%**)、そのうち月例0か月児の死亡は50.0%であった。
- ・ **2歳児以下**の割合は**約7割**(71.4%)を占めている。

横浜市港北区里帰りの状況に関する5か年比較

横浜市港北区の概要
人口 36.2万人(令和5年3月)
出生数 3,036人(令和3年)

調査概要: 調査対象:港北区4カ月児健診受診家庭

*港北区地域子育て支援拠点どろっぷと港北区役所が協働で実施

令和1年5~6月 配布数:400 回収数:236(回収率59.0%)

令和4年10~11月 配布数:472 回収数:328(回収率69.5%)

令和2年10~11月 配布数:400 回収数:368(回収率92%)

令和5年10~11月 配布数:400 回収数:310(回収率77.5%)

令和3年10~11月 配布数:225 回収数:190(回収率84.4%)



©港北区ミズキー

- 里帰り出産
- 里帰りなし・手伝いあり(一定期間)
- 里帰りなし・手伝いあり(必要な時)
- 里帰りなし・夫婦のみ
- その他

港北区地域子育て支援拠点
どろっぷ

コロナ
影響前



コロナ
後



令和6年4月施行 改正児童福祉法 こども家庭センター、地域子育て相談機関の設置

地域子育て相談機関

妊産婦、子育て世帯、子どもが気軽に相談できる子育て世帯の身近な相談機関

- 子育て世帯との接点を増やす
- 保育所、認定こども園、幼稚園、**地域子育て支援拠点事業**など子育て支援を行う施設・事業を行う場を想定。
- 市町村は区域ごとに体制整備に努める。中学校区に1か所を目安
- 主な内容は、相談支援と情報発信
- 利用者支援事業の専門員**の原則配置



こども家庭センター (市区町村)

「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の見直し

- 児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談等
- 把握・情報提供、必要な調査・指導等
- 支援を要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成、連絡調整
- 保健指導、健康診査等

※地域の実情に応じ、業務の一部を子育て世帯等の身近な相談機関等に委託可

13

提言1 妊娠期からの切れ目ない予防的支援を具体化する

○すべての自治体に、親にスティグマを与えない、安心できる身近な「地域子育て相談機関」の設置を早急に進める

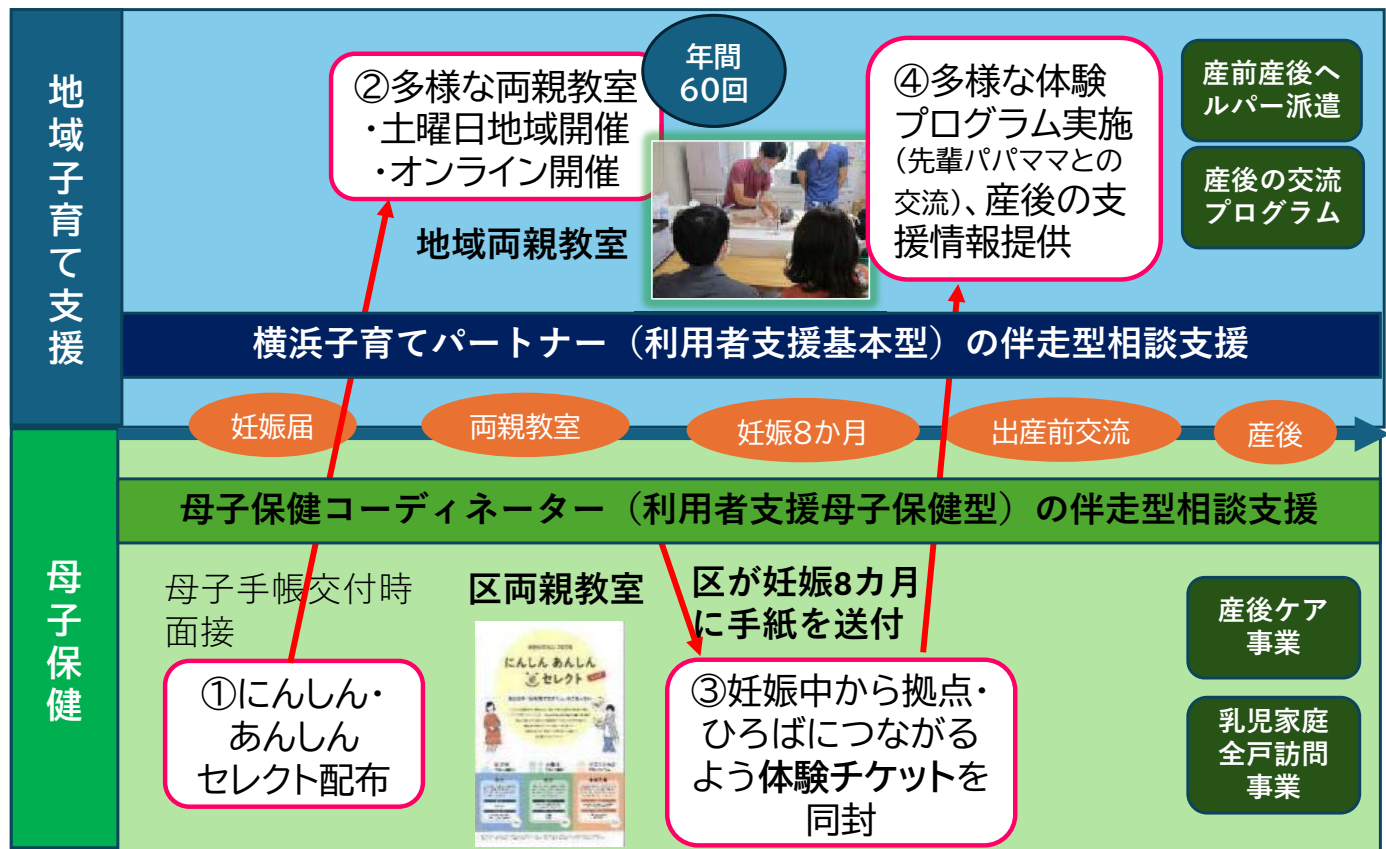
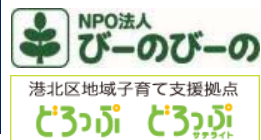
○今年4月からスタートする「こども家庭センター」と「地域子育て相談機関」の具体的連携・協働の絵を描く

○「出産・子育て応援交付金」「伴走型相談支援」を上記体制に組み込む

○夫婦で参加する「出産前教室(両親教室)」を土日に開催したりオンラインを活用するなど働いている人が参加しやすいものにする。妊娠期から地域で包摂し、母子保健に加えて生活支援の情報やピアサポートにつながる内容とする

○産後ケア事業だけでなく、地域人材を活用する「産後サポート事業」「産前産後ヘルパー派遣」に国庫補助を入れる

事例1 横浜市港北区 母子手帳交付時から行政と地域子育て支援の連携



15

事例2 東京都世田谷区 地域ネットワークで両親教室の開催

土曜・日曜・祝日開催の両親教室 年間60回
 平日 保健センター・児童館 年間50回
 土曜・日曜オンライン両親教室 年間12回（令和5年度）



両親教室 合計 年間**122**回 各回 8～20組

1グループに地域の支援者(拠点スタッフ、主任児童委員等)がファシリテーターとして入り、その後、地域子育て支援拠点やイベントなど街中で「ばったり」会える。地域情報をその方のエリアごとに細やかに提供。8カ月面談、利用者支援事業につなぐ。講義・体験(沐浴、だっこ、妊婦体験)・情報提供・グループ交流タイム(妊婦・パートナーにわかれて)パパファシリテーターの参画により先輩パパともつながれる。

地域の実践者と
一緒に学ぶ!

子どもとの暮らし
をイメージ



16

事例3 千葉県松戸市 行政と民間と連携した支援

～妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援体制

ママパパ 学級



1日目(栄養士・歯科衛生士)、2日目(保健師)は、行政主導で市内3か所の保健福祉センターで実施。また、3日目は、市内21か所の地域子育て支援拠点事業(おやこDE広場及び子育て支援センター)で実施。各拠点において、子育てコーディネーター(利用者支援専門員)からの情報提供、グループ交流タイム(妊婦・パートナーにわかれて)では、先輩ママパパと赤ちゃんのふれあい体験を行う。



妊娠8か月 面談



令和5年8月から伴走型相談支援として、妊娠8か月面談を拠点にいる子育てコーディネーターで実施。保健師が取りまとめをし、相談者の希望の拠点へ連絡。出産前の不安や産後のサポートなどについて相談、情報提供を行っている。

地区担当保健師…妊婦からの相談内容を前もって把握はしているが、保健師ではできないこと(地域の情報や他の子育て中の人などの関わり)を拠点でやってもらえて助かっている。
相談を受けたプレママプレパパ…仕事をしていると、地域の情報がわからなかった。出産前に来てよかった。たくさんの子育て中のおやこに会えてうれしかった。

17

3. ウェルビーイングに価値を置く

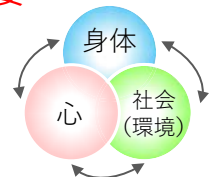
幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン はじめの100か月の育ちビジョン

目的

こどもが小学校に入る前までの時期「はじめの100か月」は、人生の幸せな状態(ウェルビーイング)で過ごすために最も大切な時期です。そこで、社会全体でこどもの育ちを支える共通した考え方を広め、保障していくことを目的としています。これらを保障することは、すべての人のウェルビーイング向上につながります。

5つのビジョン

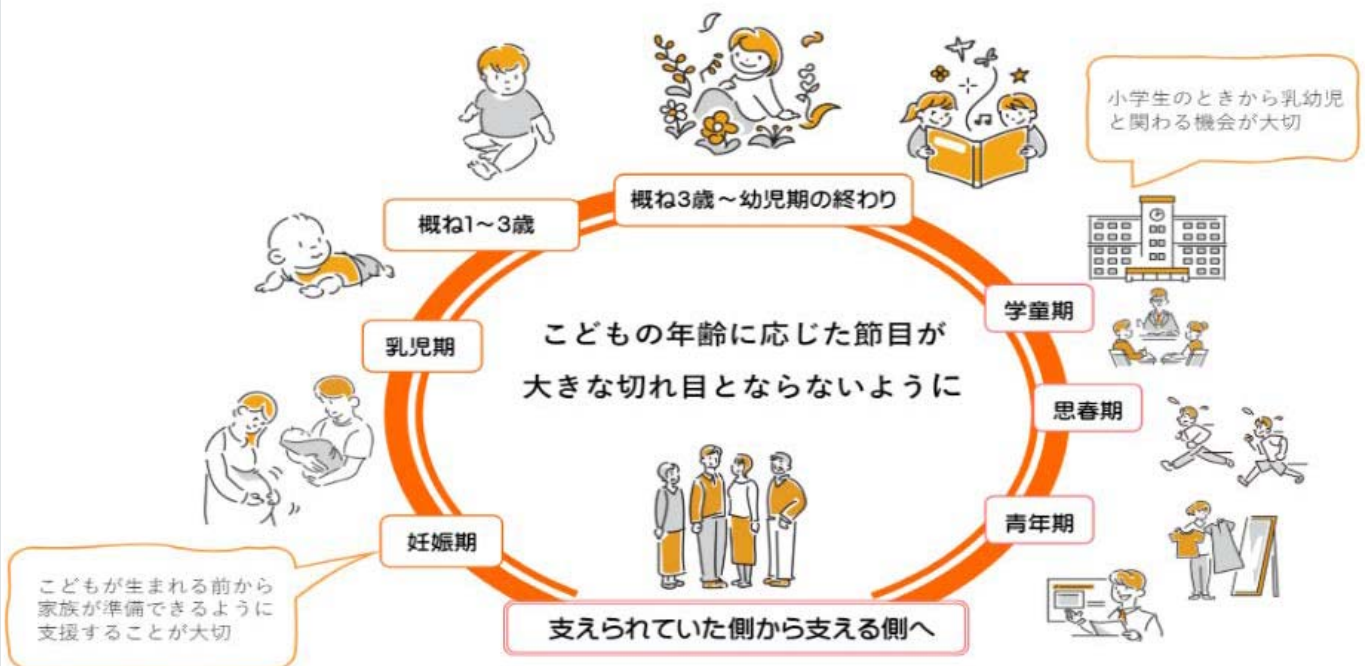
- ① こどもの権利と尊厳を守る
- ② 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
*アタッチメントの形成(安心)と豊かな遊びと体験(挑戦)が重要
- ③ 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- ④ 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- ⑤ こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す



身体、心、社会(環境)のすべての面での育ちを一体として保障

出典；こども家庭庁 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）【やさしい版】

育ちの環境を切れ目なくつくり上げ、 次世代を支える好循環をつくる



出典；こども家庭庁 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）【やさしい版】

調査や実験で判明したこと

①幸せの「効果」

生活水準が同じでも、幸福感（自己申告の点数等）がより高い人は、後々の「向社会的行動」「仕事の質・満足感・収入」がより高く（収入は約2割増）、「人間関係」がより豊かで、「負傷・疾病・死亡リスク」がより低く、「寿命」が7.5年ほど長い。

②幸せの「秘訣」

「経験を他者と味わう」「おしゃべりなど能動的な活動をする」「外交的に行動する」「楽しむために身体を動かす」「感謝の気持ちを表現する」「所有よりも経験にお金を使う」「自然豊かな場所で20分以上過ごす」

ポイント①

「落とし穴」の避け方

- ★他者の幸福も視野に入れる
- ★中長期的視点をもつ



地域でのかかわり

ポイント②

「幸せな社会」の条件

- ★人々の寛容さ
- ★私生活と仕事の両立支援



地域による
子育て支援も

提言2 乳幼児期の支え合いがウェルビーイングへ

○こどもが小学校に入る頃までの時期(はじめの100か月)、社会全体でこどもの育ちを支えるという考え方を共有し、保障していく

○こどもが不安な時に安心できるアタッチメントの対象は、親だけでなく、こどもに直接かかわる人たちにももてる機能であることを共有し、こどもに関わる担い手を増やす

○保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援を大切にする

○支えられる側から支える側へ、育てられるものから育てるものへの循環を、具体的に地域でみせていく(赤ちゃんとのふれあい体験授業等)

○経済的支援にとどまらない幸せ感の醸成には、他者の幸福も視野に入れた支え合いが不可欠であり、乳幼児家庭の交流の場からスタートさせたい

○社会における「寛容さ」、「私生活と仕事の両立支援」を図るために、地域子育て支援が大事である

事例1 横浜市港北区 多世代のボランティアが「寛容さ」をひろげる



DOORS ボランティア募集

DOORS

♥ だろっぴでボランティア

無償

● Sボランティア
子どもと遊ぶ・お話し相手・庭の手入れ・演奏・読み聞かせ・調理・力仕事・DIYなど、できることを自分のペースで
S=スーパー、スペシャル、すてき 年齢制限なし

● 学生ボランティア
子どもとのふれあい、遊び、お世話など
大きくなった元利用者の方もなもきてください

● だろっぴ「monaka」
● だろっぴサテライト「MOMO」
利用者のボランティア活動グループ、定期的な会合を持ち、ひろばに必要な環境を提案・作成や、イベントを企画・運営

● だろっぴ
だろっぴ/サテライトを利用するパパ/ママたちの集まり
ゆったりしたおしゃべりで情報交換やイベント、毎月開催

● こうほくnetほいっぴ
もっと子育てしやすいなる形を考え作っていく、
港北区の子育て当事者グループ

だろっぴ 045-540-7420
サテライト 045-633-1078
問い合わせフォーム URL
<https://business.form-mailer.jp/fms/30a04430121366>



♻️ 子どもを預かる

有償

● 子育てサポートシステム
言い事送迎、リフレッシュのための預かり
対象：生後57日～小学校6年生
子育てサポートシステム事務局
港北区支部 045-547-6422



● 保育ボランティア「おんぶにだっこ」
だろっぴ/だろっぴサテライトで開催する講座の保育や見守り
対象：だろっぴ/サテライト利用者(未就学児)
だろっぴ 045-540-7420/サテライト 045-633-1078

● 地域訓練会保育ボランティア
障がいのある子どもの訓練会・サークルにて、
親ミーティング中の保育や、活動の準備、見守り
だろっぴ 045-540-7420/サテライト 045-633-1078

♻️ 産前産後の家庭をケア

有償

● 産前産後ヘルパー派遣事業
産前産後の家庭で、家事(食事の準備・片付け、洗濯、掃除、買物)・
育児(おむつ交換、沐浴介助、送迎補助)の支援
認定NPO法人びーのびーの
045-633-1123
helper@bi-no.org



無償のボランティア活動実績(令和4年度)
一般ボランティア のべ2,863人
学生ボランティア のべ 984人

👤 コミュニティに加わる

ネットワーク

● code for kohoku
港北区オープンデータを活用した子育てプロジェクトの
活動から派生した IT ボランティアによる自主活動グループ
code for kohoku: okpyokohama2016@gmail.com

● Now+(ナウプラス)
子育て世代のコミュニティ、今の生活(now)に少しでも
何かを+したい思いで集まった人たち
Now+事務局 nowplus.kohoku@gmail.com

● 港福一夜城
港北区にゆかりのある有志が意見交換や情報共有を実施
港福城プロジェクト TEAMSASUKE kikaku@bi-no.org

● ラシク 045
イキイキと暮らせる都市を作る目的で元気に自由に面白く議論する
一般社団法人ラシク045 rashiku@gmail.com



💰 寄付でつながる

● 認定NPO 法人びーのびーの
だろっぴ/だろっぴサテライト運営法人
地域とのつながりによる「みんなで子育て」の
実現に向けて挑戦し続けています
045-540-7422



お住まいの地区の自治会・町内会への加入、お子さんが在籍する小学校・中学校での PTA など、地域でも関わりをはくくみ、活動する場があります

事例2 東京都世田谷区 中学生と赤ちゃんとの「ふれあい体験授業」



自分の後に生まれてきた人への態度と責任を学ぶ
いつくしむ・いつくしまれる感じを味わう。
(自分もこうして大きくなった)
成長発達のイメージ
子どもの権利(赤ちゃんに同意を得る)
子育てしている人との出会い

協力家庭にとってもエンパワメントに。
「ティーンエイジャーに体験をプレゼント」
地域の中に役割をつくる
「自分の子がかわいい」から、
「地域の子がみんなかわいい」へ。
→「社会的親」役割の獲得

2016年 区立中2校でスタート
2019年～区の補助事業に！
2024年 5団体で21校実施予定



事例3 千葉県松戸市

利用者参加型のグループワークを中心とした「講座・講習等」の実施

ひろば全協の予防型プログラムの講座を受講した拠点スタッフが、毎月テーマを決めて「おしゃべり会」を実施。

親自身が主体的に参加し、他の参加者との相互作用の中で、自分なりの子育てを見出し肯定的な養育イメージを学び獲得していくことをめざしている。



「松戸はじめておしゃべり会」



「ワンオペ育児みんなどうしてる？」

<参加者の声>

- ・同じ状況の方がたくさんいることがわかり、勇気づけられた。
- ・話すこともストレス発散になった。
- ・スタッフがいることで話しやすくなり、たくさん話せてよかった。
- ・同じマンションなのに話す機会がなく、ここで知り合いになった。
- ・同じくらいの月齢の子を持つ親と知り合えて、同じ悩みを聞いた。
- ・おとなと話せて、スッキリした。共感してもらえてうれしかった。

25

4. NPO・地域人材の活用

提言3 NPO・地域人材の活用と適切な処遇改善

○一時預かり事業等、NPOに受託の機会が与えられない自治体がある。条件が整っていれば、一時預かり事業、こども誰でも通園制度を含め、NPO法人等市民団体が排除されない仕組みをつくる。

○相談だけでなく、具体的に利用できる事業や支援サービスを増やす。現在は市町村格差が大きく、誰でも利用できるサービスになっていない。NPO等が新たな担い手が参入しやすい仕組みをつくる

○その際、地域人材の育成に努め、業務に見合う謝金を支払う

○地域人材のコーディネーターが仕事として成り立つように支援する

○産後ケア事業だけでなく、地域人材を活用する「産後サポート事業」「産前産後ヘルパー派遣」に国庫補助を入れる(再掲)

27

事例1 横浜市 ファミリー・サポート・センター事業

利用料が値下げされ、提供会員の報酬が、1時間1,000円にアップ(500円は横浜市が給付)

令和5年7月1日から、子育て世帯への支援拡充策として、以下の取組を実施

①援助の報酬（利用料）の改定

1時間の援助の報酬（利用料）を800円から500円へ値下げ（平日7時～19時の場合。時間外は100円増し）

②提供・両方会員向けの給付金の支払い

援助活動を行った提供・両方会員に対し、援助の報酬（利用料）に加えて、横浜市から1時間につき500円の給付金を支払う

③子サポdeあずかりおためし券（無料クーポン）の配付

令和5年4月1日以降に生まれたお子さんがいる世帯で利用会員として登録した方に、8時間分のおためし券を配付

横浜市のファミリー・サポート・センター事業は、18区ごとに設置されている地域子育て支援拠点に支部事務局を設置

- ・ひとり親家庭等に一人あたり月最大24,000円の補助あり
- ・令和6年4月より申請等DX化

港北区地域子育て支援拠点

どろいどろい

港北区活動実績
(令和4年度)
活動件数:年間
10,218件

横浜市 こども誰でも通園制度の試行的事業の実施案

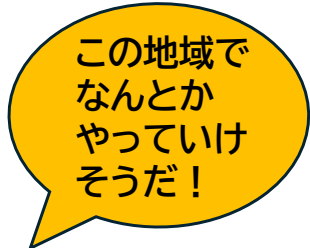
保育所、幼稚園、認定こども園に加えて、地域子育て支援拠点においても実施予定

事例2 東京都世田谷区 さんさんプラスサポート事業

保健師のフォローケースに産後ヘルパーを派遣(クローズド)
NPO運営の中間支援センター(利用者支援事業基本型)の
コーディネーターがマッチング。地域人材を活用した団体が訪問も。

- ①保健師による支援会議等で訪問支援決定。
同意のとれた本人から申し込みを受ける
- ②中間支援センターのコーディネーター(利用者支援専門員)より
ヒヤリングを行い、訪問事業者へのマッチング
- ③訪問期間中のフォロー、その後の地域情報提供、各地域のコーデ
ィネーターへつなぐ。

対象：妊娠中から子が1歳の誕生日の前日まで
期間：原則12回(週1回2時間)の訪問(約3か月、無料)
内容：家事援助、育児補助、通院への同行、育児相談
約20社からマッチングし、地域の市民団体も参入。
産後ヘルパーとして地域人材が家庭訪問に関わり、その後地域に
つながるケースが増えた。



29

事例3 千葉県松戸市 乳幼児一時預かり事業とこども誰でも通園制度

市内28か所の拠点のうち、7か所の拠点で乳幼児一時預かり事業を実施。
理由を問わない一時預かりを行っている。一日4時間まで。1時間500円(利用者負担)
令和5年8月より、出産後拠点の登録をすると、
2時間無料券を配布。

(乳幼児一時預かり、産後ヘルパー、マグカップのいずれかを選ぶ)



事業名	施設	時間	料金	お問い合わせ先
乳幼児一時預かり	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00	500円	047-321-0508
	アリス児童センター	13:00-18:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-375-8737
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-333-8531
	松戸市立中央児童センター	13:00-18:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		090-9830-8974
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-322-7581
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-345-2820
	松戸市立中央児童センター	13:00-18:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-711-7576
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		
	松戸市立中央児童センター	9:30-11:00		047-366-7347

<利用者の声>

- ・私の大事な“お守り”。私たち親子の暮らしになくてはならない存在になっている。
- ・親も子どもWin-Win。親は満たされ、子は楽しい！たった数時間でもその後の「育児の質」が高まる。
- ・親子ともに助かっている。安心して任せることができ、自分の時間を過ごすことができる。

※令和6年4月より、市内3か所(市直営の保育所)でこども誰でも通園制度を実施。
月10時間まで。1時間300円(利用者負担)

30